

けんせつ小町部会先進事例現場見学会を開催しました

建設技術委振興課

いわて女性の活躍促進連携会議けんせつ小町部会では、**建設業界が性別に関わらず誰もが働きやすい業界となることを目指し**、平成29年度から建設産業における女性の活躍支援のための総合的な取組を進めています。

6月6日には、生産性の向上や労働環境改善に取り組む先進事例現場見学会を開催しました。県内建設企業に従事する17名の方にご参加いただき、成瀬ダム工事を見学しました。

自動化施工による生産性の向上

工事受注者のJV（鹿島・前田・竹中土木特定建設工事共同企業体）の方から、ダム堤体打設工事の自動化について、ご説明いただきました。

工事に機械の自動化システムを導入したことにより、熟練オペレーターの操作分析をもとにプログラムされた3機種14台の建設機械を、現場から400km離れた場所で3名の

ITパイロットが昼夜連続で管制し、高速施工を実現しました。また、自動化により、月間打設量の国内最高記録を樹立しました。（記録の更新は1960年の黒部ダム以来、約60年ぶり）

JVの方からは、「大規模な工事だからこそチャレンジできる環境にあった。今後は、一般的な造成工事での活用を目指したい。」とのお話がありました。担い手不足が課題とされる中、企業の努力によって単純作業の機械化を図り、生産性を向上させていく取組について、非常に勉強になる機会となりました。



働きやすい職場環境づくり

JVの方から、性別によらず、働きやすい環境づくりのため、個室トイレの設置や女性用休憩施設の設置などについて、ご紹介いた

だきました。工事現場が山奥にあるため、週末のリフレッシュになるような環境の整備など、工事現場で働く方の環境整備に取り組まれているそうです。

参加した方からは、「最先端の技術に驚いた」、「環境整備の点で人に関わることは規模の大きさに関わらず普遍的な問題だと改めて感じた」などの感想がありました。

ぜひ、参加されたみなさんには、見学会で感じたことや学んだことを自社の取組に生かしていただきたいと思います。

今回は、国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所及びJVのみなさまに快く見学を受け入れていただきました。ありがとうございました。

